

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 48′ 35″		
				経度	137° 36′ 01″		
池沢橋 (フリガナ)イケザワバシ	村道第125号線	長野県木曽郡王滝村					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
長野県 王滝村	2017.11.17	池沢	無	一般道	その他	無し	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	株式会社 長野技研	点検責任者	吉原 潤一
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真2 主桁 04			
	横桁	Ⅰ					
	床版						
下部構造		Ⅱ	欠損	写真11 下部工 02			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)					措置後に記録	
点検時に記録					(再判定区分)	
(判定区分)	(所見等) 主桁にひびわれ、下部工に欠損が生じている。				(再判定実施年月日)	
Ⅱ	予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。					

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1977年	8m	4.8m

起点側



終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】		下部構造【判定区分: Ⅱ】	
写真 2		写真 11	
			
主桁04 ひびわれ		下部工02 欠損	
【判定区分: 】		【判定区分: 】	